

(様式1・小学校用①)

令和2年度 学 校 評 価 報 告

草加市立川柳小学校
(令和3年1月26日作成)

1 学校教育目標 ・かしこく（進んで学ぶ子） ・なかよく（明るく思いやりのある子） ・たくましく（健康でたくましい子）	
2 重点目標・努力目標 「子どもたち一人ひとりを大切にし、笑顔と活気あふれる川柳小」 ・「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科授業づくり～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」という課題で校内研修の充実を図り、学習意欲向上による学力向上を目指す。 ・幼保小中を一貫した教育の取り組みを進めるために、さらに連携を深めて計画的に充実させていく。	3 前年度の成果と課題 成果 ○乗り入れや交流などの幼保小中を一貫した教育の取り組みを積極的に進めた。 ○ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善を目指し、授業改善ができた。 課題 ●ユニバーサルデザインの視点を生かした国語授業づくりを課題研修として、授業研究を実施したが、児童の学力向上につながるよう、研修のあり方も含めて検討していきたい。

4 評価表 ※評価基準 [A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○保護者・職員学校評価を生かし、学校行事の見直し、会議資料の電子化、会議の精選などで効率化し、校務改善を図った。 ●負担軽減を教育の充実につなげるため、教材研究や児童と直接向き合える時間の確保など、日課の見直しや教育環境の改善に努めていく。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○幼保小中を一貫した教育にふさわしいユニバーサルデザインの視点を生かした国語授業づくりを行った。手立てを他教科にも応用した授業を公開し、校区の教育力向上につながった。 ●授業公開、管理職による授業指導など、教職員一人一人の授業改善をすることで、さらなる学力の向上につなげる。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○手指消毒の徹底、飛沫防止ボードの設置等の感染拡大防止対策、薬物乱用防止教室やCAP、救命救急研修など、計画的に安全に対する指導を充実させることができた。 ●危機管理マニュアルの見直し及び徹底を今後も図っていく。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○倫理確立委員会を中心に、当事者意識を持って事例研修を充実させたことで、教職員一人一人の事故防止に対する意識の向上が図られた。 ●個人情報漏洩の防止等のため、教職員のより一層の意識改革を図り、研修を推進する。

⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校運営協議会の推進 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の方々や学校・園との連携のために、感染対策を講じて、学校運営協議会の開催や、連絡システムを活用して学校・学年・学級だよりの配付をし、学校の様子を知らせた。 ●学校の取り組みの様子をより伝えられる手立ての構築をさらに進めて行く。子どもたちの地域行事への参加の啓発を図っていく。
⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像の共有 15年間を通じたカリキュラムの編成 一貫教育推進のための組織づくり 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保小中連絡協議会を中心にして、目指す子ども像に向けた共通の研究主題と仮説の立案や、授業公開などの連携を図ることができた。 ●今後の活動に生かすために、取組内容の評価と見直しを行い、さらに計画的に充実した活動ができるように努める。

(様式1・小学校用②)

草加市立川柳小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○休校期間を補うため、教育計画を見直し、定められた教育課程を確実に実施できた。 ●行事や日課等を見直すことで、今後もより一層の教育目標の具現化に努める。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの視点を生かした授業スタイルの確立、個に応じた指導を充実させたことで、学力の向上を図ることができた。 ●基礎・基本の確実な定着のために、更なる教師の指導力向上を図っていく。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育推進教師を中心に研修を計画的に実施し、指導力を高めることができた。 ●授業計画や評価の見直し、家庭・地域への啓発を図り、充実した道徳教育が行えるよう努める。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTとの連携を図り、教科担任の役割を生かした、質の高い授業を行えた。 ●授業計画や評価の見直しを行い、より確実な指導力を身に付ける。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会活動では、代表委員会で児童が学校の課題を自ら見つけ、解決に向けた横断幕作成などに主体的に取り組むことができた。 ●児童の自主性を育むための指導の充実をより一層図っていく。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○感染対策を講じて、外部組織や人材の活用を進めたことで、充実した活動を行うことができた。 ●年間指導計画の見直しや内容の精選を行い、活動の系統性を図っていく。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導主任を中心に、全教職員が共通理解を図り、チームでの対応・情報共有及び積極的な生徒指導を充実させることができた。 ●小小・小中連携、関係機関との連携を進めながら継続的な指導を展開する。

⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスポートを作成し、家庭と連携しながら児童にふり返りをさせるなどして、内容の充実に努めた。 ●各学年の実態に応じた活動計画になるよう、改善を図っていく。
⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターを中心に、就学相談や支援を計画的に行うことができた。 ●各学級に在籍する配慮を要する児童に対して、今後も指導体制の充実に努めていく。
⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校司書や中央図書館と連携を密にし、図書室の整備に努めることができた。21000冊貸出を目標にして意欲的に読書へ取り組んだ。 ●図書館の蔵書を増やして充実させ、効果的な活用を図っていく。朝の活動として読書活動を今後も実施する。
⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科でICTを生かした授業づくりに努めた。全学年で積極的に活用している。 ●各教科におけるICTの活用に向け、指導スキルの向上を図っていく。
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○人権研修会や出張報告を通じて、人権を尊重した教育の推進をした。 ●定期的な校内研修の充実に努めていく。

(様式1・小学校用③)

草加市立川柳小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の計画立案 ・教職員の共通理解・共通行動 ・地域や保護者、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○年間貸し出し数21000冊を目標に掲げて、児童が読みたくなる読書ビンゴの取り組み、蔵書の充実に努めた。図書委員児童による読み聞かせや元中央図書館長さんのブックトークも継続できた。 ●図書館司書教諭を柱に学校司書、中央図書館が連携して、今後も貸し出し数向上、読書意欲向上を目標に取り組む。
	②教職員の事務負担軽減による教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画立案 ・教職員の共通理解・共通行動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT活用による会議の精選や日課表の工夫など、効果的な取り組みを複数導入・継続することができた。 ●負担軽減をすることにより、教育活動の充実につながるという意識を持ってもらい、提案のボトムアップを今後も活用する。
	③特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育コーディネーターを中心に、就学相談や支援を、諸機関との連携を図りながら計画的に行うことができ、より個に応じた指導方法の工夫や改善を図れた。 ●各学級に在籍する配慮を要する児童に対して、今後も教職員の共通理解・共通行動を図り、組織的な支援体制の充実に努めていく。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- チーム川小として、全教職員が協力して、感染拡大防止対策を踏まえた上での学校行事の見直しなどの児童の教育活動に当たる体制が確立されている。
- 教職員の共通行動の結果、児童が落ち着いており、生徒指導上の問題に対しても組織的に対応できている。
- 目指す子ども像の実現に向けて、高学年の教科担任制の継続、乗り入れ授業や授業公開などの様々な幼保小中を一貫した教育の取り組みを積極的に進めている。
- 代表委員会の児童が中心となって、時と場に応じた挨拶ができる児童の育成に向けて、考案した解決策の実践を行ったことで、挨拶への意識が高まった。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科授業づくりに向けて、中学校区で立案した共通の仮説に対応した、ユニバーサルデザインの視点を生かした手立てを講じて、授業改善に取り組むことができている。
- 児童は学校の校内ではしっかりと挨拶ができる意識が高まったが、地域では小さな声になる傾向がみられる。いつでも時と場に応じた挨拶ができる児童の育成を今後も目指したい。
- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科授業づくりを課題研修として、授業研究を実施したが、他教科にも応用できる手立てを構築し、より児童の学力向上につながるよう検討していきたい。

6 次年度の改善策

- 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した国語科授業づくりでの手立てを他教科にも応用することを継続して、教員の授業力向上を図り、児童の学力向上を目指す。
- 家庭・地域と連携しながら、あいさつ励行の取り組みをより一層進める。
- 学校図書館司書教諭、学校司書、読み聞かせボランティアと連携しながら、さらに本に親しむ児童育成のため、読書活動の推進を図る。
- 学習にふさわしい学校生活を継続するために、積極的な生徒指導を推進していく。
- 幼保小中を一貫した教育の取り組みを進めるために、さらに実践を交流し合い、連携を深めて充実させていく。